

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 10 日作成)

| | | |
|---------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 環境振動測定分析小委員会 | |
| 主査名 | 小谷 朋央貴 | |
| 就任年月 | 2015 年 4 月 | |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 環境工学委員会 (環境振動運営委員会) | 委員長名：羽山 広文 主査名：国松 直 |
| 設置期間 | 2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月 | |
| 設置目的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>環境振動に関する測定手法について多くの測定事例を収集し、測定分析方法の体系化を目指す。その成果は広く会員に展開し、居住性の向上に寄与することが本小委員会設置の目的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015 年度 測定マニュアル検討WG 設置 (環境振動測定経験者へのアンケート結果の分析)、共同実験場所の決定など ・2016 年度 共同実験及び分析実施、測定分析マニュアル案作成 (WG) ・2017 年度 測定分析マニュアル公開 (シンポジウム等) ・2018 年度 測定分析マニュアル更新、3 年間のまとめ | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | 主査：小谷朋央貴 (フジタ) 幹事：尻無濱昭三 (鉄建建設) 委員：足立大 (リオン)、伊積康彦 (鉄道総研)、神谷俊行 (ベネック振動音響研究所)、佐野泰之 (愛知工大)、田中彩 (鹿島建設)、富田隆太 (日本大学)、平松和嗣、原田浩之 (三井住友建設)、平光厚雄 (国土技術政策総合研究所)、松田貫 (大和ハウス工業)、森川和彦 (清水建設)、藪下満 (YAB 建築・音響設計)、横島潤紀 (神奈川県) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 測定分析マニュアル検討 WG (2015 年 4 月～2017 年 3 月)：環境振動測定分析資料の作成を行う。 測定分析資料作成 WG (2017 年 4 月～2019 年 3 月)：同上 | |
| 2016 年度予算 | 50,000 円 | ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. アンケート結果の分析 (WG) 実施 2. 今までの環境振動測定結果を学会大会及び技術報告集投稿 3. 環境振動の共同実験の実施 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 2. 3. |

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

| 総合評価 (4段階評価) | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div> |
|--|---|
| <p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 年度計画通りの5回開催した。 2. 昨年度実施した「つくば実験住宅」の道路交通振動などの結果を分析し、日本建築学会九州大会に2編投稿し発表した。 3. 測定分析マニュアル検討WG内で検討したアンケート調査結果、及び共同実験（鉄道振動）における感覚量と物理量についてまとめ、日本建築学会技術報告集に2編投稿し採用された。 4. 日本音響学会春季発表会SSへ小委員会活動成果をまとめて1編投稿した。 5. 次年度、公開研究会を計画した。 |

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。